

平成29年度（30年3月期） 連結決算概要

1.平成29年度（30年3月期） 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 増収増益：増収は3期ぶり、増益は2期ぶり（当期純利益ベース）

ガス販売量	△152百万m ³	:他事業者向供給の供給先減
電力販売量	+2,002百万kWh	:小売電力件数増
売上高	+1,903億円	:原料費調整に伴う単価増などによる「都市ガス」の売上増 +1,088億円 :小売電力販売量増などによる「電力」の売上増 +729億円
営業費用	+1,323億円	:原油価格上昇影響などによるガス原材料費等増 +943億円（当期 6,201←前期 5,258） :小売電力販売量増に伴う電力営業費増 +677億円（当期 2,090←前期 1,413） :年金数理差異償却額の減少 △317億円
営業外損益	△21億円	:持分法による投資利益 △11億円（当期 24←前期 35）ほか
特別損益	△101億円	:（当期）固定資産売却益 +34億円、投資有価証券売却益 +30億円、減損損失 △32億円 :（前期）固定資産売却益 +66億円、投資有価証券売却益 +91億円、減損損失 △24億円
配当金		:期末配当金は、1株当たり27.5円といたします（1株当たり年間配当額 55.0円 ※）。 ※平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の株式併合を行っており、1株当たりの年間配当額は株式併合後の基準で換算しています。 :200億円・8百万株（1.7%）を上限に自己株式取得を実施します。

<平成30年3月末現在連結会社数：連結子会社 74社、持分法適用関連会社 15社> (単位:億円)

決算実績表	29年度	28年度	増減	%
売上高	17,773	15,870	1,903	12.0
営業費用	16,610	15,287	1,323	8.7
営業利益	1,163	583	580	99.3
経常利益	1,115	556	559	100.3
親会社株主に帰属する当期純利益	749	531	218	41.1

経済フレーム	29年度	28年度	増減
為替レート(¥/\$)	110.85	108.38	2.47
原油価格(\$/bbl)	57.03	47.53	9.50
平均気温(°C)(※)	15.7	16.3	△0.6

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものを。

(2)ガス・電力販売量

		29年度	28年度	増減	%	
ガス	家庭用	百万m ³	3,570	3,466	104	3.0
	業務用	百万m ³	2,722	2,709	13	0.5
	工業用	百万m ³	7,290	7,293	△3	△0.0
	計	百万m ³	10,012	10,002	10	0.1
	他事業者向供給	百万m ³	1,985	2,252	△267	△11.8
	合計	百万m ³	15,568	15,720	△152	△1.0

家庭用 : 冬場の低気温影響による給湯需要増
業務用 : 夏場の高気温影響による空調需要増
工業用 : 前年度並み
他事業者向供給 : 供給先減

当社供給区域内の年度末 都市ガス取り付けメーター数（千件） : 11,678（対前期+142）

		29年度	28年度	増減	%	
電力	小売	百万kWh	4,569	2,254	2,315	102.7
	その他	百万kWh	10,087	10,400	△313	△3.0
	合計	百万kWh	14,656	12,654	2,002	15.8

小売 : 件数増による販売量増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	29年度	28年度	増減	%	29年度	28年度	増減	%
都市ガス	11,488	10,400	1,088	10.5	1,166	765	401	52.4
電力	2,186	1,457	729	50.0	96	44	52	115.9
海外	415	319	96	30.1	77	44	33	74.9
エネルギー関連	4,808	4,595	213	4.6	137	137	0	△0.2
不動産	423	414	9	2.2	79	78	1	1.5
その他	927	890	37	4.1	49	32	17	53.3
調整額	△2,476	△2,207	△269	-	△418	△482	64	-
連結	17,773	15,870	1,903	12.0	1,187	619	568	91.8

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エンジニアリングソリューション、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	29年度	28年度	増減		29年度	28年度	増減
設備投資	2,087	2,033	54	D/Eレシオ	0.64	0.65	△0.01
営業キャッシュ・フロー	2,403	2,174	229	ROA	3.3	2.4	0.9
有利子負債	7,249	7,135	114	ROE	6.7	4.8	1.9

2.平成30年度（31年3月期） 業績予想

(1)通期見通しのポイント 対前期 増収増益（当期純利益ベース）

ガス販売量	△26百万m ³	:平均気温を前年並みとしたことによる家庭用、業務用の減
電力販売量	+472百万kWh	:小売件数増による販売量増
売上高	+1,767億円	:原料費調整に伴う単価増などによる「ガス」の売上増+955億円、小売電力販売量増などによる「電力」の売上増+497億円 他
営業費用	+2,000億円	:原油価格上昇影響などによるガス原材料費等増、および年金数理差異・減価償却費などの経費増による「ガス」の費用増+1,117億円、販売量増等による「電力」の費用増+471億円 他
営業利益	△233億円	:「ガス」における都市ガスの経費増△175 他
特別損益	+259億円	:（当期）固定資産売却益291億円 :（前期）固定資産売却益 +34億円、投資有価証券売却益 +30億円、減損損失 △32億円

(単位:億円)

	30年度	29年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,542	15,568	△26	△0.2
電力販売量(百万kWh)	15,128	14,656	472	3.2
売上高	19,540	17,773	1,767	9.9
営業費用	18,610	16,610	2,000	12.0
営業利益	930	1,163	△233	△20.0
経常利益	930	1,115	△185	△16.6
親会社株主に帰属する当期純利益	880	749	131	17.4

経済フレーム	30年度	29年度	増減
為替レート(¥/\$)	110.00	110.85	△0.85
原油価格(\$/bbl)	65.00	57.03	7.97
平均気温(°C)	15.9	15.7	0.2

為替・原油変動のガス粗利影響感度

(単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	47	56	△9
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	53	63	△10